

## 平成24年度行政評価委員会 議事要旨

会議名	第2回葛飾区行政評価委員会
開催日時	平成24年8月31日(金) 午前10時から正午
開催場所	葛飾区役所新館5階 庁議室
出席者	【委員12人】 大石会長、足達委員、網代委員、泉委員、金木委員、金子委員、 篠原委員、柴田委員、佐々木委員、曾根委員、長谷委員、浜本委員 【区側7人】 区長 事務局(政策経営部長、経営管理課長、経営管理課職員4人)

### 会議概要

#### 1 会長挨拶

(事務局より配布資料の説明、欠席者の連絡を行った)

#### 2 答申内容の確認

会長 両分科会の答申案を全行政評価委員で確認し、行政評価委員会の答申として確定させたいと思う。

(第一分科会総括)

会長 「消費生活モニター」では、時代に即した実施方法の見直しや、これまで行われてきた活動を継続・発展させていくための取組について主に議論を行った。

「広聴会」では、区長に直接意見を言うことのできる機会をつくる重要性や、そうした機会をより意義のあるものにするための取組について主に議論を行った。

「広報かつしか発行」では、多くの媒体が存在する現在においても、差別化を図りながらより良い広報紙としていくための取組について主に議論を行った。

「不法投棄防止対策」では、地域と協力した取組の重要性や、適正な廃棄を促すための取組について主に議論を行った。

「総合防災訓練」では、東日本大震災を教訓として、より実践的

で実効性のある訓練としていくための取組や関係機関と連携することの重要性について主に議論を行った。

「社会参加セミナー」では、類似の講座との役割分担を明確にすることの重要性や、受講者が活動を始めるための支援方法などについて主に議論を行った。

(事務局による第一分科会評価結果案の読み上げ)

会長 第一分科会評価結果案について、質疑等はあるか。

A委員 「不法投棄防止対策」の「単位あたりコスト」は何を指しているのか。

会長 「不法投棄防止対策」のトータルコストを「夜間パトロール実施回数」で割ったものである。

A委員 点数等の評価の基準を明確にしたうえで評価をする必要があるのではないか。

事務局 一見して評価の概要が理解できるように昨年度から評価の点数化を行っており、事務局で点数の基準を明確に示せていないことは問題であると認識している。一見した時のわかりやすさも考慮しながら、皆さまの意見を踏まえて来年度に向けて検討していく。

(第二分科会総括)

分科会長 「環境衛生普及・啓発」では、講習会の対象や目的別に成果を把握することの重要性やネズミ防除以外の区民ニーズに合致した講習会の実施等について主に議論を行った。

「道路掘削工事指導調整」では、コストの大半をしめる人件費を、どのように効率化するかということについて主に議論を行った。

「オンラインサービス(ICTを活用した図書館サービス)」では、最先端のシステムに係る費用対効果や、その他の図書館におけるサービスとのバランスの妥当性について主に議論を行った。

「CAP講習会」では、いじめ問題等から子どもを守るために非常に重要な事務事業であることや、実施内容の見直しについて主に議論を行った。

「少年の主張大会」では、児童や生徒が自ら進んで参加できるような大会運営や目的の見直しについて主に議論を行った。

「かつしか教室」では、対象者のニーズや状況を適正に把握する

ことの重要性や、それに基付いた実施内容の見直しについて主に議論を行った。

(事務局による第二分科会評価結果案の読み上げ)

会長 第二分科会評価結果案について、質疑等はあるか。

B委員 「問題なし」という表記があるが、問題が無い場合でも何らかのコメントが必要ではないか。

これらの評価結果は、区議会や区民に対して説明ができるようにする必要はある。

A委員 コストについては、算出方法がわからなかったため、「問題なし」とした。

分科会長 コストは区議会による議決を経ているため、経費の使い方としては問題が無いということである。

A委員 成果は事務事業評価表に記載されているため、特別にコメントを付けてはいない。

会長 点数「1」を付けた理由を伺いたい。

分科会長 あくまで所管部の評価に対して点数をつけている。「今後の方向性」が委員の思う方向性と大きくずれていたり、コストについて十分な分析がなされていなかったため、「1」とさせていただいた。

会長 区議会や区民への説明方法についてはどうか。

事務局 事務局で点数の基準を明確に示せていないことは問題であると認識しており、そういった問題点も含めて区議会や区民に説明をしていく。

A委員 評価する際に大事なはその基準であり、統一された評価の基準を明示することが重要である。その基準となりうるのはコストであり、費用対効果によって評価を行うことが重要であると考えます。

会長 事務事業ごとに性質が違っており、委員ごとに評価の視点も違っている。単純に「1」が悪い、「5」が良いというものではなく、議論を行い、1つの結論に達することに最も意義があると考えます。

### 3 行政評価への意見について

事務局 これまでに委員の皆さまからいただいた行政評価への意見について、振り返らせていただきたい。

適正な評価をするためにより詳細な資料が必要であるといった意

見、行政評価委員会の目的や在り方を見直すべきであるといった意見、点数や単位あたりコスト、指標等の評価の基準を明確にすべきであるといった意見等をいただいた。

皆さまからいただいた意見を踏まえて、来年度以降の行政評価委員会の改善に活かしていきたい。

#### 4 区長への答申

#### 5 区長挨拶

区長 委員の皆さまには熱意を持って審議に取り組んでいただき、感謝する。本委員会は今年で11年目を迎え、この間、委員の皆さまからいただいた答申は様々な事務事業の改善に活かされてきた。今後も、本日いただいた答申等を踏まえ、区民にとってより良いサービスを実現できるように全力で取り組んでいく。

B委員 このような活動を11年間継続していることは素晴らしい。本委員会に参加して区のことをよりよく理解できたと思う。今後も区のために尽力していきたい。

区長 こうした活動は地道に続けていくことが重要である。ただし、こうした活動を区民に知ってもらえていないことも多く、知っていただくための取組も重要であると考える。

C委員 民間と行政の「ものさし」には差があるという第一印象であったが、議論を進める中で、それは埋められる差だということを再認識できた。行政評価制度についてもいろいろと意見を言わせていただいたが、区長をはじめ、区の皆さまにも厳しい目で私たちの答申を評価してほしい。

区長 民間と行政の見方が違うということを知るのは重要なことである。区民にとって何がもっとも望ましいのかを考えるために、区民の皆さまから広くご意見をいただきながら取り組んでいきたい。

D委員 初めて委員会に参加したが、忌憚なく話し合うことができた。事務局にはよく対応していただき感謝している。「はなしょうぶコール」の整備など、区政が改善されていることを実感している。今後とも区民第一で取り組んでいっていただきたい。

区長 区民第一・現場第一で頑張りたい。区が思うことと区民が思うことは違うことも多く、今後も区民の意見を聴くために取り組んでいきたい。

- E 委員 区と区民の認識には差があるが、その差はだんだんと縮まっていると思う。今年度、本委員会に参加し、評価を続けることで事務事業が改善されていくことを実感できた。
- 区長 行政評価委員会の開始当初は職員側も警戒していた。それでも議論を行い、取り入れるべき部分は取り入れることで、徐々にお互いの認識の差が縮まってきたのだと思う。
- F 委員 区の仕事について勉強させていただき、私自身のためにも参加してよかったと思う。委員に女性が少ないので、議論の内容が女性の視点からずれていると感じることがあった。女性がもっと参加できるような取組をしていただければ嬉しい。
- 区長 女性の参画については、ゆっくりではあるが進んでいるところである。職員については約半分が女性であり、女性の係長や課長、部長の人数も増えてきている。今後も女性も含め様々な立場の方の意見を聴くように努めたい。
- F 委員 コストはその数字が妥当であるかどうかを評価することが難しいと感じた。費用対効果等を分析できるような資料や説明があれば議論がさらに深まったのではないかと思う。その上で、コストの削減だけでなく、コストをかけてでも充実させるべき部分を見極めることが重要である。
- 区長 行政評価制度の開始当初はコスト削減の側面が強かったが、現在は事務事業の改善という側面も強くなっている。今後、高齢化が進展する中で、やるべき施策を実施していくためにも、十分に議論を行いながら、充実するべき施策の見極めと、それを実行するための改革を行っていききたい。
- A 委員 本委員会に参加させていただき2年目になるが、行政サービスの在り方がだんだんと見えてきた。サービスには必要不可欠な部分と過剰な部分があり、その見極めをこの委員会が提言していくことが重要ではないかと思う。こうした取組は今後も継続していただきたい。
- 区長 そうした視点でサービスを分析することは非常に重要なことである。そうした視点を取り入れて、サービスの評価を適切に行っていないかなくてはならない。
- G 委員 本委員会での活動はとてもよい勉強となった。感謝する。
- H 委員 委員の皆さんとよい議論ができたと思う。感謝する。
- I 委員 「広報かつしか発行」という事務事業を評価したが、本委員会での議論等を通してより良いものにしていくことができるのではない

かと感じた。

(委員と区長で集合写真を撮影)

6 行政評価の今後の日程について

7 閉会

会長           この2か月間、大変忙しい中、また猛暑の中、行政評価委員会の運営にご協力いただき感謝する。  
                  これをもって、本日の行政評価委員会を終了させていただく。